

平成29年8月18日

各報道機関 御中

山梨大学

## 「笛吹市と山梨大学との包括的連携協定」の締結 調印式の挙行について

山梨大学と笛吹市は、生活・健康・福祉・教育・文化等の分野で協力し、豊かで活力ある地域社会の形成と地域の振興を図り、相互の発展を目指すことを目的として、このたび、包括的連携協定を締結することとなりました。

本協定により、健康・介護予防や公共交通分野における両機関の人的、物的資源の活用と連携を一層強化し、高齢化社会への対応策の立案・実施の中で地域活性化を促進してまいります。

つきましては、下記により調印式を挙行しますので、取材方よろしくお願い致します。

### 記

日時：平成29年8月22日（火）13時30分から  
場所：笛吹市役所本館3階301会議室（笛吹市石和町市部777）  
出席者：笛吹市；山下政樹 市長 / 山梨大学；島田眞路 学長

### 【具体的な取り組み】

#### 健康・介護予防

笛吹市民のライフコース・ヘルスケア

～「ふえふき笑顔ヘルスプラン」「ふえふきいきいきプラン」の推進～

#### 高齢化社会での公共交通の改善

笛吹市における公共交通ネットワークの最適解

～笛吹市地域公共交通の結び直し・活性化～

事業の詳細につきましては、別紙を参照願います。

#### （問い合わせ先）

山梨大学 研究推進・社会連携機構 社会連携課 大澤  
TEL：055-220-8780 FAX：055-220-8757

#### （広報担当）

山梨大学 総務部総務課広報企画室  
TEL：055-220-8005 FAX：055-220-8799  
E-mail:koho@yamanashi.ac.jp

## 「笛吹市と国立大学法人山梨大学との包括的連携協定」の締結について

### 1 背景

笛吹市では、地方創生、人口減少対策に向け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成 27 年策定)」を推進するとともに、第一次笛吹市総合計画(平成 25 年 7 月策定)などの諸施策の中で、住民が安心して暮らしていく環境の整備・充実を図ることとし、「ふえふき笑顔ヘルスプラン(第 2 次笛吹市健康増進計画)」や「ふえふきいきいきプラン」などによる目的達成を推進している。

これまでも笛吹市と山梨大学との間において、健康・介護予防と高齢化社会での公共交通の改善など、連携して取り組んでいるところではあるが、今後、更に高齢化が進むなか、高齢者の生活環境の改善と住みやすいふるさと構築の重要性はますます高まるものと考えられる。

については、地域の基幹の大学として『知の拠点』の役割を果たし、地域の発展に貢献することを掲げる山梨大学との健康・介護予防や公共交通分野における更なる両機関の人的、物的資源の活用と連携により、高齢化社会への対応策の立案・実施の中で地域活性化を図ることとした。

### 2 包括的連携協定の締結

山梨大学は、「地域の中核 世界の人材」をキャッチフレーズに、第三期中期目標・中期計画などで「地域貢献」を掲げ、これまで以上に地域の期待に応えることを明確化して地域の様々な要請に応え、地域振興などの活動に精力的に取り組んでいる。

そこで、笛吹市、山梨大学の相互の目標の実現に資するため、また、活力ある地域社会の形成、発展を目指して、双方の持つ資源の活用や様々な分野での緊密な連携を図るため、包括的連携協定を締結する。

### 3 両機関の目指すところ

(1) 笛吹市は、次の事業実施による地域・市政の活性化を目指す

高齢者の生活環境の改善と住みやすいふるさと構築

笛吹市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施

(2) 山梨大学は、次の計画、事業で「地域貢献、特定分野の研究」を目指す

大学キャッチフレーズ「地域の中核 世界の人材」、第三期中期目標での社会との連携、

社会貢献の達成

「地(知)の拠点整備事業」による地域志向型の教育・研究・社会貢献の実施

### 4 実施事業

**健康・介護予防** (担当: 医学部社会医学 山縣教授)

笛吹市民のライフコース・ヘルスケア

～ 「ふえふき笑顔ヘルスプラン」「ふえふきいきいきプラン」の推進 ～

**高齢化社会での公共交通の改善** (担当: 工学部土木環境工学科 佐々木教授)

笛吹市における公共交通ネットワークの最適解

～ 笛吹市地域公共交通の結び直し・活性化 ～

### 5 事業概要

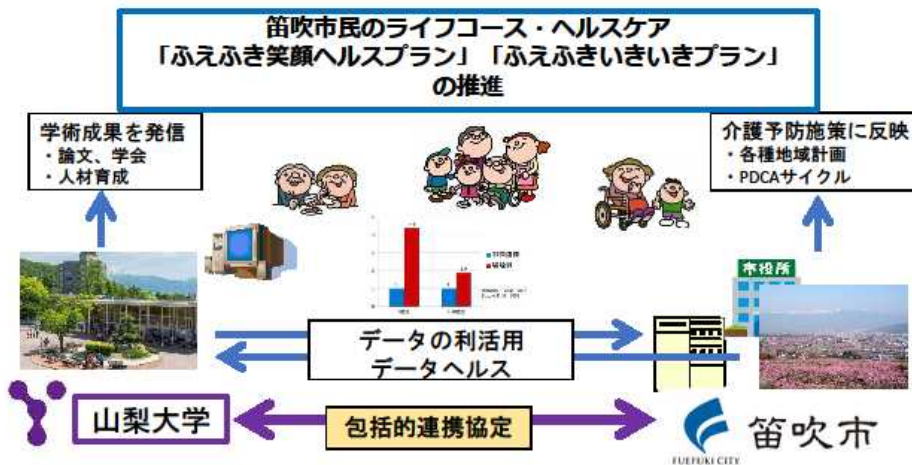
別紙のとおり

### 6 将来展望

本事業は、少子高齢化社会となる我が国において、更にその進捗が激しい地方地域の高齢者が、健康長寿者として生活する環境を構築することは、笛吹市のみならず他地域の参考となりうるものと期待できる。

## (健康・介護予防)

笛吹市の介護予防事業の推進のために、山梨大学医学部社会医学講座は2011年から高齢者の生活機能調査（元気度チェックふえふき）の集計・分析およびそれに基づく介護予防事業のアドバスおよび評価を行っている。また、エコチル調査の対象地域として連携している。  
 包括的連携協定（健康部門）は、健康情報の利活用による保健・医療・福祉施策（国が進めるデータヘルス）の強化となり、将来の地域包括支援システムの構築、笛吹市民の生涯にわたる健康支援（ライフコース・ヘルスケア）、介護予防の基盤の一翼を担う。



## (高齢化社会での公共交通の改善)

